

主な内容

- 1~3……市民広報特派員レポート
- 3……かがやき催物、リバーナホール催物、国津の杜の行事
- 4……二次救急実施病院、ひまわり、やなせ宿催し

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊚http://www.city.nabari.lg.jp



伊賀勢と織田軍の戦い 「天正伊賀の乱」

中世、市内に城が築かれた当時の時代背景を知るため、「天正伊賀の乱」について、伊賀中世城館調査会会長の松鹿 昭二さんに話を聞きました。

**信長の重臣たちも参戦した
第2次天正伊賀の乱**

天正6年(1578年)織田信長の次男である、北畠(織田)信雄は、伊賀攻めの拠点となる丸山城(伊賀市下神戸)の築城を始めましたが、完成間近に伊賀勢が襲撃し、陥落。翌年には、1万の軍勢で伊賀に入ったものの、山中などで待ち伏せ攻撃にあい、敗走しました。このように、伊賀勢は奇襲や夜襲を得意としていたようです。この戦いで信雄は、重臣の柘植三郎左衛門を失いました。これが、第1次天正伊賀の乱です。伊賀攻めを信長に報告していません。このことを知った信長は、信雄を厳しく責めました。

天正9年(1581年)、織田軍4万数千人の軍勢が、伊賀への入口各所から攻め込みました(第2次天正伊賀の乱)。これは、信長が「伊賀は山国ではあるが他の戦国武将たちと手を組まれてはやっかい。伊賀を放つてはおけない」と感じたからではないでしょうか。

この伊賀攻めには、滝川一益や、後の名張藤堂家初代となる藤堂高吉の父である丹羽長秀など織田信長の重臣たちが数多く参戦しています。

やはり多勢に無勢、織田軍は、ほどなく伊賀を制圧しますが、最後に赤目にある「柏原城」に伊賀各地から駆け込んだ老若男女総勢約1600人が籠城して抵抗しました。これに対し、織田軍の兵の駐屯などの拠点になったのが下小

波田にある「滝川氏城」です。

今も残る信長への憎悪の念

この戦いは、伊賀勢の降伏により幕を閉じますが、抵抗の拠点となった神社・お寺はもちろん数多くの建物が焼かれ、たくさんの方が殺されました。伊賀の人たちには、織田信長に対する強い憎悪の念が残ります。

第2次天正伊賀の乱は、信長が明智光秀の謀反により命を落とした「本能寺の変」の1年前のことでした。

信長が討たれたという知らせを聞いた伊賀の人はとても喜んだようです。現在も、盆に明智光秀にお灯明をあげる意味で玄関や縁側に提灯(明智提灯)を灯す家があります。

2・3ページへ続く

テーマ

市民広報特派員 レポート

リポーター
市民広報特派員
原 諒馬くん
(北中学校3年)



小学生の夏休みの自由研究で、市内の歴史を調べるうちに、市内に中世に築かれた城がたくさんあることを知りました。中学に入っても自由研究で伊賀市内のお城について取り上げました。

2月に父親から「広報なばりで、広報特派員を募集しているよ」と教えられ、広報特派員制度を知りました。家族も協力してくれると言ってくれたので、応募しました。

今回のレポートでは、伊賀地域の中世城館を調査している松鹿昭二さんに当時の歴史についてお聞きし、赤目町柏原区長の富森一弥さん、市教育委員会の門田了三さんには、現地で城跡について、教えていただきました。

このレポートで多くの市民の皆さんに地元歴史を知ってもらい、興味を持っていただけたら嬉しいです。



伊賀の城をテーマに作成した自由研究

市民広報特派員制度…市民参加の広報紙づくりを行うため、平成4年から実施している制度。のべ145人の市民が参加。原諒馬くんは、最年少市民広報特派員になります。



市民広報特派員リポート 「地元の歴史を知る」

実際に現地へ行ってきました。



奈良県境を眺める



伊賀勢最後の砦 柏原城

赤目町柏原にある勝手神社から東へ徒歩5分ほどのところに「柏原城(瀧野十郎城)」があります。
赤目町柏原区長の富森一弥さんに、現地を案内していただきました。

地元に住む人たちに 地元の歴史を知ってほしい

柏原城に行くときは、入口に説明看板があります。
「赤目には、たくさんさんの歴史資源があります」と話す富森さん。
その歴史資源をたくさんさんの人に知ってもらおうと、赤目まちづくり委員会では、史跡など16カ所に説明看板を設置したそうです。
「観光客などにも知ってもらいたいけど、まずは、地元の人にもふるさとを歴史をよく知ってもらい、自分のふるさとを自慢できるようにしてほしい。そうなれば、赤目をたくさんさんの人に知ってもらえるようになると思う」と富森さんは熱く語ります。

自然の地形を存分に 利用した柏原城

次に富森さんは、お城の立地条



あぜ道を抜けると柏原城

件などを話してくれました。

「当時の城は、石垣を組んだり、天守閣があったりする城ではなく、自然の地形を利用したもので、砦といったほうがイメージしやすいかな。柏原城は、小高い山であり、当時設置していたと思われる櫓からは、正面に見える県境あたりの動きを監視していたと思います。見通しがよいということもお城の設置場所としては重要な要素。また、まわりの川も自然のお堀になっています。そして逃げる場所があることも重要。『柏原城』の背後には、山があり隠れ場所になっていたようです」。

当時の城の様子を 今も残す柏原城

富森さんは、広場となっている周辺を歩きながら説明を続け、「周囲は土塁や空堀で守りを固めていたあとが今も残ります。そし

名張市内の中世城館マップ(総務室市史編さん担当調べ)



- 中世城館跡
- 織田軍関係

て生活に欠かせない水は、現在も残る『お滝女郎井戸』から汲み上げていたと思われれます。井戸があると、戦が起きたとき、もう一度城として使われることがあるので、壊されずに残っているのもめづらしい」と話します。
虎口(城の入口)があったと思われる場所には、地面を補強したと思われる石積みが残ります。広場は草木が刈られています。地元の人たちが協力して手入れしたそうです。
「ここで、音楽会なんかできたらいいなと思っています。蚊の少ない季節にね」と富森さんは笑顔で話してくれました。



※現在、総務室市史編さん担当が確認している市内の中世城館は、70カ所です。

子ども支援センター **かがやき** 催物

開館時間 午前9時
30分～午後5時

※日・月曜日、祝日、年末
年始は休館。月曜日が祝
日のときは翌日休館

▼はじめて広場 10月11
日 金 午前10時30分～
「かがやき」を利用した
ことがない人は、気軽に
ご参加ください。

▼親子で遊ぼう「伊賀シンフォニックアカデ
ミー演奏会」10月5日 土 午前10時45分～
◎参加無料

☎ 子ども支援センターかがやき
(桔梗が丘西3) ☎67-0250



かがやき
大時き

南口 悠人くん
真央ちゃん
(百合が丘東)

「市民プール忘れ物」保管期限は12月28日 市民プールの忘れ物は、総合体育館(夏見)で保管しています。水着、タオル、浮き輪、ゴーグル、帽子など、忘れ物をした人は、電話でお問い合わせください。

☎ 総合体育館 ☎63-5339

リバーナホール催物

[イオン名張店3階]

☎ 商工経済室 ☎63-7824

■手描き友禅を身近で楽しむ会

日時 10月5日 土・6日 日

午前10時～午後6時(最終日は4時まで)

主催 手描き友禅の会

■第7回五クラブ写真合同展

日時 10月11日 金～14日 祝

午前10時～午後6時(最終日は5時まで)

主催 フォトクラブ美光

■名張水彩画会作品展

日時 10月17日 土～20日 日 午前10時～午後

6時(初日は正午から最終日は5時まで)

主催 名張水彩画会

■全日写連名張支部の展

日時 10月25日 金～27日 日

午前10時～午後6時(最終日は5時まで)

主催 全日本写真連盟 名張支部

国津の杜の行事

☎はぐくみ工房あららぎ ☎62-6920

■木工教室 木製プランターを作ります。

日時 10月13日 日 午前9時30分～正午

講師 土井 義政さん 定員 10人

参加費 1,500円(材料費含む)

持ち物 手袋、タオル

■体操教室 万代くみ子さんの健康体操

日時 10月15日 日 午前10時～11時30分

定員 16人 参加費 300円

持ち物 敷きマット、屋内用靴、タオル

■韓国料理教室 白菜キムチを作ります。

日時 10月15日 日(塩漬け)・16日 日(本

漬け) 午後1時30分～

講師 李 辰淑さん 定員 16人

参加費 1,500円(材料費含む)

持ち物 エプロン、三角巾、容器、白菜2kg

☆☆☆☆☆

申込 9月24日 日 から10月7日 日 までに、

電話で問い合わせ先へ

※ 先着順。参加者が少ない場合は中止



南伊賀支配の拠点としても整備された滝川氏城
「滝川氏城は、四方を高さ約3mの土塁が囲む、三重県下最大級の単郭式城郭(郭…役割を持たせた城の単位)として貴重です。現在は地域の運動場として利用され、ソフトボールなどでもできる広さです」と門田さん。

が柏原城で籠城し抵抗が続いていたため、この城は、前線で疲れた兵が休める駐屯地であったと思われれます。そして、万が一前線が突破されても、柏原城方面からの攻撃があっても、見通しのよい平地で、大軍で迎え撃つことができる絶好の場所でありました。また、織田軍は、戦いの後も南伊賀の支配の拠点になるように大規模な城にしたと思われれます」と話します。

書物に残る信長が名張に来た事実
門田さんは、「織田信長がこの城に来たんだよ」と教えてくれました。幼少期から本能寺の変までを記した信長の一代記「信長公記」には、伊賀勢が降伏して間もないころに、信長が小波多まで家来をつけて陣中見舞いに来たと言われています。



四方を3mの土塁が囲む

織田信長も訪れた 滝川氏城

美旗古墳群の一つ、貴人塚の南にある丘陵、現在、下小波田地区の運動場として利用されているのが、「滝川氏城」です。市教育委員会の門田了三さんに現地を案内していただきました。



上空から見た滝川氏城

市民広報特派員 原くんの視点

松鹿さんには、「天正伊賀の乱」の詳しい話を聞くことができました。自分で調べるだけでは、分からないことがほとんどでした。それを分かりやすく話をしてくれましたので、天正伊賀の乱について理解することができました。また、松鹿さんから、後世に名張の歴史を伝えていきたいという思いが伝わってきました。

富森さんと門田さんには、現地で説明を聞くことができました。今までにも家族と一緒に城跡などを見に行きましたが、地域のことや歴史をよく知るお二人に話を聞くことで、自分の理解が深まりました。また、富森さんの「地元の歴史を、地元の人に知ってもらいたい。そして自分のふるさとを自慢してほしい」という言葉が心に残ります。ぼくもこれから、名張の歴史についてもっと知りたと思いました。

今回のレポートを読んで、市内の城跡に興味を持っていただけたらうれしいです。紹介した2つの城以外にもたくさんの城跡がありますので、ぜひ見つけにお出掛けください。

次号予告 支援をつなげる パーソナルカルテ(9月29日回)は休刊

伊賀地域二次救急実施病院

【小児科以外の診療科】 **10月**

☎健康福祉政策室 ☎63-7579

実施時間帯
 ◆平日…午後5時～翌日午前8時45分
 ◆土・日曜日、祝日…午前8時45分～翌日午前8時45分
 ※ただし、岡波総合病院は、月曜日…午後5時～翌日午前9時/第2・4日曜日、祝日…午前9時～翌日午前8時45分
 ◆平日昼間午前8時45分～午後5時は、名張市立病院で二次救急を実施
 ◆名張市立病院小児科の時間外の二次救急は、市立病院の二次救急実施日と右上カレンダー★印の日にも実施

日	月	火	水	木	金	土
		1★	2	3	4	5
		8	名/岡	10	11	12
6	7	14	15★	16	17	18
13★	岡	岡	名/岡	23	24	25
20	21	22	23	24	25	26
27★	28	29★	30	31		
岡	岡	上	名/岡	名		

☆みえ子ども医療ダイヤル(☎#8000)…子どもの急病やケガの無料相談(毎日午後7時30分～11時30分)

☆三重県救急医療情報センターコールセンター(☎64-1199)…24時間体制で受診可能な医療機関を紹介

◆救急車で搬送以外は必ず事前にご連絡ください。
 名…名張市立病院(☎61-1100)
 上…上野総合市民病院(☎24-1111)
 岡…岡波総合病院(☎21-3135)

- ◎受け入れ対象は、重症患者です。実施日以外は救急受け入れを行いません。
- ◎重症患者が重なるときは、受け入れできない場合があります。
- ◎岡波総合病院小児二次救急は開業医や応急診療所の紹介、または救急車で搬送のみ受け入れを行います。受診後は必ず入院となります。通常診察などの一次救急は対応していません。
- ◎かかりつけ医へ早めの受診を心掛けましょう。

◎救急車の適正利用をお願いします。

「はじめて覚えた字」

「お父さん、この本読んであげようか?」

今から、3年ほど前、幼稚園に入園して間もない娘が、私の読みかけの本を手にとってきました。当時、絵本などを読み聞かせたことはありましたが、まだ、文字を教えたことはなかったのです。この間に、字が読めるようになったらどうだろうと思いながら、「ありがとう。じゃあ読んでもらおうか」とお願いしました。



～人権尊重をくらしのなかに～
 公益見入人権・男女共同参画推進室(☎63-7909)へ

もそれを楽しみにしていました。そして自分で読める文字も、日を追って増えていきました。また、幼稚園でももらった本を家のあちらこちらに持って行って読んでたり、時には、「今日は、この本を読んであげるから、お父さん



は、この本を読んだ」と、お互いに読みあつたりもしました。娘は本を読み終えると、いつもこちらに少し誇らしげな笑顔を向けてきました。その笑顔をみるたび、わたしには、「はじめて覚えた字」を伝えるにきたときの

「お父さん、この本、どがたたくさんあるねえ」数ページ読み終えて、そう言う娘の顔には、字が読めるようになったことへの喜びがありました。「この字、お姉ちゃんの名前の字やで。お姉ちゃんが教えてくれたん」

「そうか、よかったねえ」笑顔で話す娘を見ながら、私は、一つの字を読めるようになることが、娘にとってこれほどの喜びにつながるのだと実感しました。娘の通っていた幼稚園では、絵本の読み聞かせがよくあり、娘

笑顔が重なるようになって、この笑顔の中には、字を覚えたという喜びがまつまっているんだな」と思いました。今、小学一年生になった娘は、ひらがなを書けるようになるために、鉛筆を握りしめてプリントに向かっています。「お父さん、を」の字で書くのん難しいなあ」わたしは、そんな日々成長している娘の姿に喜びを感じるとともに、学ぶということの原点を見る思いがしています。

なせ宿 催し
 ☎旧細川邸やなせ宿 ☎62-7760 月曜休館

■やなせ宿郷土史講話会
伊勢街道(初瀬街道)シリーズ
 日時 10月5日(土) 午後1時30分～3時30分
 内容 第一講…錦生編(安部田・黒田)
 講師 松鹿 昭二さん(名張金石文研究会会長)
 ◎参加無料。申込不要

■第3回やなせ宿料理教室
 日時 10月14日(日) 午前9時～11時
 内容 手作りパンと簡単にできる肉料理
 ◆フォカッチャ
 ◆鶏肉の猟師風煮込み
 講師 高嶋 拓美さん(ワンデイレストラン“オステリアCiao”のシェフ)
 参加費 1,000円(材料代、食事代を含む)
 定員 10人 ※先着順
 申込 10月11日(金)午後5時までに電話で問い合わせ先へ

男性の料理初心者の方が対象 「男の料理教室」参加者募集

日時 10月26日、11月23日、12月14日
 午前10時～午後1時
 ※すべて土曜日、時間変更の場合あり

場所 名張公民館(上八町)
 内容 だしのとり方を学んだり、中華料理にチャレンジしたりします。毎回、簡単なお酒のおつまみも作ります。
 対象 市内在住、在勤で男性の料理初心者
 定員 16人 ※申込者多数の場合は、初めて受講する人を優先の上、抽選
 参加費 2,400円(3回分の材料代。初回徴収)
 申込 10月7日(日)までに、はがきに「男の料理教室申し込み」、住所、氏名、年齢、電話番号、過去の料理教室などへの参加の有無(ある場合は参加回数も)を書いて、市役所4階人権・男女共同参画推進室(〒518-0492 鴻之台1-1)へ
 ☎人権・男女共同参画推進室 ☎63-7559

農産物の販売を計画をしている皆さんへ 「農業人材育成研修会」を開催

日時 10月8日(火) 30日(水)
 午後2時～4時
 場所 農業研修センター(蔵持町芝出)
 演題 「防除の基礎」(8日)
 「野菜づくりの基礎」(30日)
 講師 県伊賀地域農業改良普及センター職員
 ◎参加無料
 申込 事前に電話で問い合わせ先へ
 ☎ 農林資源室 ☎63-7625

新入学児童を対象に 健康診断を実施します

対象 平成26年4月に小学校に入学するお子さん
 ※健康診断は、11月末までに各小学校を会場に実施します。日時など詳細は、保護者にはがきでお知らせします。健康診断では、子どもの既往症や予防接種を受けた時期をお尋ねしますので、事前に確認してお越しください。
 ☎ 学務管理室 ☎63-7873